

## 平和の願いを確かめあった！ 市民運動をさらに広げていこう！ 春が来た駒ヶ根平和のつどい開催

3月27日(日)午後、駒ヶ根駅前アルパ3F 大会議室にて、市民の会主催の平和のつどいが開催され、54人の市民がつどいました。戦争法(安保法制)の施行を前に、あらためて平和の原点に立って市民運動を広げていくことを確かめあいました。

**杉本駒ヶ根市長と信州市民連合又坂氏からメッセージが寄せられました。ありがとうございました。**

### 平和であってこそ、楽しく歌える 第一部は、楽しくみんなで歌う会

オープニング太鼓(堀口さん)が大きく響き渡り第一部が始まりました。伊那地域で活躍している歌声サークルざざむしの歌声、医療生協有志のコーラス、そして松久さんのギターと歌など、楽しい時間を過ごしました。



### 今日ほど平和憲法の立場が国際的にも大事な時はない。何としても戦争法(安保法制)は廃止を 第二部は、「平和の願いと戦争法(安保法制)」と題してシンポジウム



市民の会代表の松久芳樹さんをコーディネーターに、5人の方によるシンポジウムが行われました。平和の願いを確かめあい、戦争法(安保法制)の内容をあらためて考えあい、今後の市民運動の課題について意見交換を行いました。フロアからもある保育園での君が代斉唱の動きや憲法改正に緊急事態条項を盛り込む危険な動きなどの意見が出され、5月まで200万人署名を継続してとりくむこと、7月の参議院選挙での野党共闘の実現を力に戦争法(安保法制)廃止を争点にしていくことなどを確認し合いました。

**今井秀臣** (元駒ヶ根市議員)  
教育によって戦争への道へ突き進んだ苦い経験を忘れてはならない。安倍政権は再び軍国主義の道へ突き進むとする危険な動き、何としても許してはならない。...

**吉澤康道** (長春寺住職)  
仏教の教えは、人を殺しても、殺されてもいけない。戦争は大変な犠牲を生むだけで、いかに無意味で悲しいことか。集团的自衛権によってますます日本の危険性が増していく。...

**内田かつこ** (戦争体験者)  
一旦戦争になれば、日常必需品までもが戦争の犠牲になり、戦争がいやだと言えなくなってしまう。国民がわからないままに憲法が変えられる。若い人々へのアピールが重要になっている。...

**下島順一** (高校講師)  
教育現場では平和を守るために頑張っている。大学の奨学金は給付金ではなく大変な負担。非正規雇用が若者をやり場のない追い詰められた状況に。経済的徴兵制の危険性が。...

**小原勇** (信州大学教員)  
憲法を守るべき安倍首相が憲法違反の政治を推し進めている。マスコミへの介入等、いつか来た道への地ならしが進められている。野党共闘をさらに前進させていく必要がある。...

## 参議院長野選挙区で野党共闘が実現

7月の参議院選挙で、戦争法(安保法制)廃止の議員が多数になる状況をつくり出すために、全国で一人区での野党共闘が広がっていますが、長野でも全国に先駆けて実現しました。野党と市民運動が力を合わせていくという画期的な動きが進んでいます。

**2000万人署名運動を**  
市民の会での集約では、現在約3500筆の署名が確認できています。5月3日の憲法記念日までに全国で2000万人、駒ヶ根市で5000筆を目標にとりくんでいます。

**今後の宣伝行動**  
4月4日(月) 「安倍政治を許さない」統一アピール行動  
中沢、東伊那で計画が生まれ、他の地域でも検討中。  
4月19日(火) 全国的な宣伝行動  
駒ヶ根市では、午後2時～ ツルヤ南で行います。